



今、伝えたいこと ～防災への備えと設計者として考えること～



★（福岡県内）特別支援学校 内覧の様子★

保存食や水、衛生用品、多機能ラジオライトなどを備え、常備薬が必要な社員が非常時に取り違えることのないよう名札を付けています。飲料水は各自のリュックに加え、80Lをローリングストックとして常備しています。非常用トイレも各階に配置し、災害時には停電や断水、配管の破損などを想定して、水を流さないよう周知しています。

また、年2回の安否確認メール受信訓練と、年1回の防災訓練を実施しています。今回の熊本地震では弊社所在地でも震度3程度の揺れを観測しました。幸い大きな被害はありませんでしたが、理想どおりに対処できたとは言いがたく、訓練を繰り返すことの大切さを改めて感じました。

この夏の豪雨による「内水氾濫」では、外からの浸水だけでなくトイレやコンセントなど壁面からの漏水も発生しており、設計者として防水や設備に対する考え方を改める必要性を感じました。今回は特に冠水した道路への車の侵入・立往生が多く見られ、個人的にも冠水時にどのように対処すべきか、日頃からの自衛意識が大切であると痛感しました。気候変動により自然災害が激甚化する中、被害をいかに最小限に抑えられるか。設計に携わる者として、改めて考えていきたいと思っています。

非常時にはさらに、通信手段が使えなくなることも想定しておく必要があります。緊急連絡先をデータだけに頼らず、紙でも整理・共有しておくことが重要です。

まずは一人ひとりの安全確保を第一に、日頃から取引先との信頼関係を構築しておくこと。それが、いざという時の安心につながるかと信じています。

話は変わりますが、9月8日、弊社が設計監理を行った（福岡県内）特別支援学校の花植えに、社員と参加いたしました。写真は花植え後、新校舎を内覧させていただいた際の様子です。設計で気を付けた点等を現場で直接社員に伝えられる、大変ありがたい機会でした。支援学校の生徒の皆さんに1つでも多く、新校舎で楽しい学校生活の思い出を残してもらえると嬉しい限りです。

（代表取締役 岩本 茂美）

岩本 茂美（いわもと しげみ） 株式会社傳設計 代表取締役

＜最近のこと＞

指示がなくても率先してやるべきことに着手することができる「自主性」。自らの意志や判断に基づき責任を持って行動することができる「主体性」。社員にはまずは「自主的」に、仕事に慣れてきたら「主体的」に仕事に取組み、成長につなげて欲しいと思っています。



★【27卒/28卒対象】今後の採用活動とオープン・カンパニー開催のお知らせ★

弊社では、8月から9月にかけてインターンシップを実施し、4名の学生にご参加いただきました。今回のインターンシップでは、Revit（3Dソフト）を使用し、図面と完成イメージを作成していただきました。

Revitを初めて使用する方もいらっしゃいましたが、驚くほど短時間で操作に慣れ、見事に使いこなしていました。最終日には成果発表会を行い、社員から実務的な視点でのフィードバックをもらう場面もありました。

今回のインターンシップを通して、私たちにとても多くの学びや発見がある貴重な時間となりました。ご参加いただいた学生の皆様、本当にありがとうございました。

さて、弊社では今後、オープン・カンパニーを開催いたします。対面はもちろん、Webでのご参加も可能です。日程はご都合に合わせて柔軟に対応いたします。2027年卒業予定の皆様のご参加もお待ちしておりますので、まずはお気軽にご相談ください。お申し込みは、弊社ホームページにて受け付けております。

また、2028年卒業予定の皆様につきましても、マイナビ2028で受け付けておりますので、ぜひチェックしてみてください。

▼ 弊社ホームページ <https://www.dens.co.jp/recruit/entry/>

▼ マイナビ2028 <https://job.mynavi.jp/2028/>

皆様からのご応募を心よりお待ちしております。

（古賀）



★発表会の様子★

★BIM（Revit）を活用した設計業務について★



皆さん、こんにちは。設計部の吉村です。

現在担当している設計業務では、BIMソフト「Revit」を活用しながら図面作成や各種検討を行っています。

BIMでは建物を3Dモデルとして作成するため、平面図・立面図・断面図などが連動して更新され、設計変更時の修正作業を効率的に行える点が特徴です。平面図だけでは分かりにくい高さ関係や空間のつながりも視覚的に確認できるため、設計段階での検討に役立っています。

最近では、Revitの「集計表」機能についても活用方法を検討しています。集計表を使用することで、建具や仕上、家具数量などの情報を

モデルから自動的に一覧化できるため、図面との整合確認や数量把握を効率的に行うことが可能になります。今後は、集計表を活用したチェック体制の向上や作業時間の削減にも取り組んでいきたいと考えています。

引き続き、BIMを活用しながら、より分かりやすく精度の高い設計を目指して業務に取り組んでいきます。

（吉村）

NEW&HOT

設計業務 TOPIX

こんにちは、設計部の神前です。入社からもう5ヶ月が経ちました。未経験だった電話応対や来客対応にもようやく慣れてきました。先輩方に色々教えていただきながら、日々設計の仕事に取り組んでいます。

さて、弊社では個人宅よりも公共の建物等の設計に携わることが多く、必ず作図するのが「トイレ」です。間違いなく毎日お世話になっているこの「トイレ」。利用者にとって使いやすいトイレとは？ 設計者としてスキル向上を目指す一歩として、今回TOTO様の「水まわり初心者向けセミナー」をオンライン受講しました。

本セミナーはパブリックトイレのレ

アウトや給排水設備、衛生陶器や推薦金具等、トイレにまつわる基礎知識を網羅しており、初心者の私にとって大変分かりやすいものでした。本セミナーを受講し、利用者のプライバシーや使いやすさを重視した動線・視線の計画が必要であることが分かりました。特に、利用者が快適に過ごすには各器具をどのように配置すれば良いのか、どのような点に気を付ければ利便性を高めることができるのか、を学ぶことができました。今後のトイレ空間の設計に活かしていきたいと思います。

また今回の受講で、水まわりの給排水設備設の役割や水の流れとの関係について、これまで十分

に理解できていなかった基本的な仕組みを知ることができました。今後は図面との関係性を理解し、レイアウトの納まりを考えたいと思います。

今回のセミナーで得た知識を活かして図面の計画や意匠設計に取り組む、実務を通して理解を深め、円滑に業務を進められるよう努めます。



（神前）

★TOTOオンライン 水まわり初心者向けセミナーを受講して★



「想い・安全・未来をカタチに」
株式会社 傳設計
DEN ARCH.& ENG.OFFICE

〒810-0073 福岡市中央区舞鶴1-6-13 舞鶴DSビル
TEL: 092-737-1500（代表） / FAX: 092-737-1501
URL: <https://www.dens.co.jp/>
E-mail: dens@dens.co.jp